

中学校給食の再開に向けて (陳情)

1. 陳情の要旨及び理由

大磯町では、デリバリー方式の中学校給食を行っていましたが、残食率の多さや毛髪の混入など衛生面の問題が生じ、委託業者との契約が解除の状況となっております。

町民のなかでは、給食の再開を望む意見が多く、町も給食の再開に向けて調査を済ませ、議会共々自校方式での給食を再開する方向であることを仄聞しています。

私は、経常収支比率が90%を超える大磯町の財務状況 (全国多くの自治体も同様) にあって、他に方法がないのならまだしも、管理栄養士や職員の仕事が増加すると思われませんが、複数の業者と業務契約を結び、残食率などを基準に、管理栄養士の意見も踏まえ、残食率の多い業者の提供回数を減らし、少ない業者の提供回数を増やすといった方法等により、生徒の期待にも応じられ、固定費の増加を回避できるのではないかと考えます。

伊勢原市において、新たなチャレンジをしています。

2. 陳情事項

- ・「デリバリー方式が失敗したから自校式にする」というのはあまりにも安易です。

現在は、新たな調理器具、輸送方式、競争原理の働きで、業者は死活をかけて品質向上に挑戦しています。

- ・不味ければ残食率が増します。衛生的に問題がある場合も同様です。

- ・そこで、財務状況も踏まえて、具体的な提案ですが、私はデリバリー方式を提案します。

その内容は、

- ①町内にあるコンビニ、ファストフード店との委託契約を結ぶ
(コンビニはフランチャイズ方式であるので本部と交渉する必要)
- ②町内産業の活性化のため、町内にある弁当屋等食材提供者との委託契約を結ぶ(零細な業者が多いと考えられるので、その連合チームのいくつかの場合も検討する)
- ③月に一度程度は大磯プリンスホテルのデリバリーを検討する
- ④管理栄養士を含め、折に応じて、委託事業者と、きめ細かな打ち合わせ・問題点の共有をする
- ⑤評価の低い業者の給食提供は回数を少なくし。評価の高い業者は回数を増やす。

令和2年5月22日

大磯町議会議長
高橋 英俊 殿

住所 大磯町国府本郷513-1

エクセレントプレイス大磯 507号

鈴木 洋有 

電話 0463 (20) 9720